





の心を育むには、キャンプでの体験は大きな役割を果たします。

### 未来に向けて 今を生きる

保護者の方々も被災されていることを考えなくてはなりません。キャンプ中は保護者のカウンセリングも行いました。個人情報保護法などで保護者の皆さんは孤立しがちです。生活の再建などが優先され、保護者の心のケアは遅れているように思います。しかし、家庭は子どもたちが一番安心できる場所です。保護者の心のケアも重要な課題です。一番大切なことは、過去と現在の間に線を引くことです。過去に起こったことは消えません。ですから私たちは未来に向けて今を生きていかなければなりません。まず線を引き、過去はじっくりと解決しようと考えていること。そして今と未来に、生きる軸をおきましょう。トラウマの仕組みは化学的に解明されつつあり、適切な治療をすれば治ります。薬の飲用は根本的な治療ではありません。適切にきちんと心の手当てを行う必要があります。

自然災害を受けた子どもたちにとって、自然は脅威を及ぼすこともあるけれど、恵みも与えてくれ、守ってくれるものでもあると感じてもらえるキャンプは素晴らしい療法です。また、YMCAが行う体験型キャンプは、すべての子どもの成長発達において、大切な意義を持っています。自然の中で学び、自然の恵みを肌で感じ、協調性を

育むことができるからです。様々なプログラムを通して表現が豊かになります。周囲の人たちにその表現が認められると、ちょっとした失敗ではくじけられない、骨太のどっしりとした大人に成長していくと思っています。

※EMDRとは「Eye Movement Desensitization and Reprocessing (眼球運動による脱感作と再処理法)」の略で、左右の眼球運動などを行いながら実施するPTSD、トラウマの治療方法です。

### 保護者の声

東日本大震災避難者

新谷真理さん

子どもに放射能の影響と思われる症状が見られたため、今年7月、埼玉県から熊本に移住しました。被災者を対象としたキャンプが開催されることを知り、早速申し込みました。キャンプ中には子どもの笑顔をたくさん見ることができ、また、私自身も同じような体験をした方々と知り合うことができ、とても嬉しく感じています。

九州北部豪雨災害被災者

財津友子さん

昨年、子どもに数多くの思い出に残る体験をさせてあげることができ、今年も参加しました。障がいを持つ子どもも快く受け入れてくれるYMCAの精神をありがたく感じています。今年は乗馬やキャンプファイヤーなどを通して、自立に向けてさらに自信がついたようです。今後もこの素晴らしい活動を続けてほしいと思います。

## インドネシア・メダンYMCA訪問



8月26日(月)から6日間、インドネシアのメダンYMCAを訪問しました。スマトラ島でのトレッキングや農村でのホームステイ、孤児院の子どもやユースとの交流など、様々な体験をしました。特に貴重だった体験は、広大な熱帯雨林で行われたオルタナティブ・リズムのジャングルトレッキングに参加したこと

す。オルタナティブ・リズムとは、「地産地消」「地元還元」をミックスした新しい観光のあり方です。地元が貧困から脱し、かつ森の環境保全を行うという目的のもとに、村を活性化させることがねらいです。

今回、インドネシアの人々がひたむきに、たくましく生きる姿を見て、自分の恵まれた環境に感謝し、大学での専門分野や英語をもっと頑張ろうと誓いました。今後、多くのユースがメダンを訪問できるように、これからもYMCAのボランティアを続けていきたいです。

YMCA国際ユースボランティア  
熊本大学3年 片橋 匠

### 持続可能な開発と環境を考える

## 東ティモールユースキャンプ

9月8日(日)〜17日(火)、日本YMCA同盟主管、東ティモールYMCA主催の「第6回YMCA東ティモールユースキャンプ」に参加しました。



東ティモール、日本、韓国からユースが集い、各国の環境問題を発したほか、ゴミ

処理場や木が大量に伐採された山などを見学。「持続可能な開発と環境」と題して課題や改善点について話し合いました。また、昨年に続き子どもたちのサッカー指導を行いました。グラウンドには石やゴミが散らばり、備品も充実しておらず、恵まれた環境とは言えません。子どもたちが楽しく思いっきりサッカーができる環境が整うことや、素晴らしい選手や青年がYMCAから育っていくことを願い、継続した支援ができればと思います。

職員 徳永祥太

## REPORT

### 地域と共に歩んで10年

日時/9月7日(土)16時〜21時  
場所/玉名市・司ロイヤルホテル

熊本ひがしワイズメンズクラブは10周年を迎え、記念例会を開催しました。熊本の東部地区の発展を目的として設立し、ながみねファミリーYMCAと地域を結ぶサポーターの役割を果たしてまいりました。記念例会には105名が出席。東ティモールYMCAから来熊中のスタッフ2名にサッカーホイッスルを贈呈しました。



この日、私たちの今後のビジョンを発表しました。夢は「生涯を通して、豊かなワイズライフ」です。YMCAと共に地域に必要とされる社会奉仕団体であり続けたいと熱い思いを語りました。

熊本ひがしワイズメンズクラブ10周年委員長  
横田博

### YMCA学院生がシンガポールで研修

日程/9月1日(日)〜9月5日(木)

経営ビジネス科2年生19名と医療事務管理学科2年生51名が、「異文化体験」、「シンガポールの歴史を学び友好関係を深める」、「海外における経営・医療の学びを深める」という3つを目的に、研修に参加しました。



ウォーメモリアルパークの慰霊塔での献花式や、シンガポールの歴史を紹介する蠟人形館の見学を行い、平和について考える時間をもちました。現地学生との交流では、グループ別に街を散策。英語力を駆使しながら意思疎通を図りました。また、学科に分かれて講話を聴き、国際的な感覚の重要性などを再確認できました。

YMCA学院  
藤森美幸



アガへ No.91

総主事 堤 弘雄

熊本YMCAの使命

熊本YMCAが行っているプログラムや活動は、すべて「熊本YMCAの使命」を実現するために行われています。使命を実現することを通して人や自然のいのちが大切にされる社会をつくるためにYMCAが存在します。

さて、熊本YMCAの使命の前文には「熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願い、すべての人々がひとつとなるための働きを行います。」とあります。

最初に、「熊本バンドの精神をうけつぎ」とあります。熊本洋学校でジェーンズに学び、花岡山で誓いを立ててキリスト教の精神をもって日本の近代文化形成に影響を与えた人々の精神を受け継ぐという意味です。

次に「イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み」とあります。キリスト教の精神を大切に、聖書に書かれたイエス・キリストが示した愛と奉仕の精神を模範とするという意味です。自分と同じように隣人を愛すること、奉仕をすること、人を許すことなど様々な教えを実践しようというものです。

次の「青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願い」はYMCAのマークの逆三角形に表わされています。3つのバランスのとれた人格形成をめざした活動を行うというものです。神様が創られた人間の無限の可能性を信じ、自然界も含めた全ての人間のいのちが大切にされる平和な社会をつくるために、具体的に以下のように使命を挙げて取り組んでいます。

1. 共に生きる社会
2. 地球環境の保全
3. 生涯学習の推進
4. ウェルネス活動
5. ボランティア活動
6. 平和な世界



最初に訪れたチェンマイでは、ストリートチルドレンとふれあいました。彼らが置かれている厳しい現実を目

撃しながら運営している「若竹寮」があります。参加者たちは事前研修の中で、タイ北部山岳少数民族が抱える問題を学び、現地での交流の内容を考えるなどの準備をして臨みました。

今年で17回目となるタイ・ユースワークキャンプは8月20日(火)から29日(木)までの9泊10日のスケジュールで行われ、18歳から26歳のユース7名でタイを訪問しました。

タイ北部のチェンライには、山岳少数民族の子どもたちに教育の機会を提供することを目的に、熊本YMCAが日本の里親の支援を受けながら運営している「若竹寮」

現地での体験は決して楽なものではありませんでしたが、心の豊かさについて考えさせられました。「豊かに生きること」とは、質素でありながらも、人と人が温かくつながり、支え合って生きることではないかと参加者は感じ取ったようです。

ICR 辻健太郎

タイ・ユースワークキャンプで感じた本当の豊かさ



の当たりにしました。子どもたちの満面の笑顔とたくましく生きる姿を見ることができました。

チェンライでは、タイ北部山岳少数民族であるアカ族の村にホームステイし、村の人々と生活を共にしつつワークを実施。村の教会堂の床にコンクリートを張る作業を行いました。ワーク終了後は、若竹寮に宿泊し、子どもたちと交流しました。

留学生が日本語で伝える自らの想い

9月3日(土)、YMCA学院日本語学科の留学生による「スピーチ大会」が、熊本市立図書館ホールで開催され、来日して半年〜1年半の留学生37名の中から選ばれた9名が演壇に立ちました。

留学生たちは、日本語で原稿を作成。自国と日本との文化の違い、自国と日本の架け橋になりたいといった将来の夢、真の幸福とはなど、日本の暮らしの中で感じたことをテーマに取り上げました。

審査の結果、努力賞にBISHIWAさん(ネパール)、3位は徐碧苓さん(台湾)、2位は李芳逸さん(中国)、1位は閻萍さん(中国)が受賞。2名に感想を伺いました。



●努力賞 『ネパールの若者たち』

BISHIWAさん(ネパール) ネパールは自然豊かで美しい国ですが、不安定な政治・経済のため、若者は仕事に就けず、多くが外国へ移住しています。その状況を伝えたいと今回のテーマにしました。私は宇宙のことを勉強したくて日本に来ました。言葉や習慣の違い、生活は大変ですが、いろいろな経験をしてネパールのために役立てたいと思います。

●1位 『自分の目で見ること』

閻萍さん(中国) 来日前、日本人は冷たくて怖い印象でしたが、日本で暮らすと人々は親切でやさしい。その経験から、自分の目で見て、考えることの大切さを伝えたいと思いました。緊張して声が震えましたが、私の想いは伝わったと思います。自分の目で見た日本を中国人たちに伝えていきたいです。

YMCA祭りが大盛況

みなみYMCAのサザンフェスタ(写真上)が9月8日(日)、ながみねファミリーYMCAのながみね祭(写真下)が14日(土)に開催され、多くのボランティアの協力によって、食パザー、のみの市、ステージ発表などが行なわれました。サザンフェスタでは例年より多くの寄贈品が集まり、のみの市が大盛況。ながみね祭も、2千名を超える来場者でにぎわいました。益金は、YMCAの国際協力活動や地域活動、災害復興支援などに用いられます。



交流を深めるボウリング大会

■日時/9月23日(祝・月)9時〜12時  
■場所/マスターズボウル熊本

第21回会員スポーツ大会が開催され、熊本YMCA会員、学生、職員などで構成する32チームが参加しました。各チーム、手作りのプラカードを手に入場行進。ボウリングで汗を流し、交流を深めました。参加者はストライクやスペアー一回につき100円を募金。約5万5千円が集まりました。この募金は、北部タイ山岳少数民族支援のために役立てられます。





# Life

第62回

“いのち”“生活”  
“いきがい”をテーマに  
したメッセージ。



NPO法人でんでん虫の会  
事務局長

吉松 裕蔵さん ①  
電話/096-297-8116  
http://denden64.org

## 社会的弱者や一人暮らしの方々と支え合う 家族のような関係づくりを目標に

2010年にこのNPOを発足させる前に野宿生活をしている人の支援を8年ほど行いました。200人以上が私たちのサポートで住む場所を見つけてくださいました。しかしアパート暮らしができて喜んでいた方が、亡くなられて2カ月経ってから発見されました。住む場所を見つけることはゴールではないことを知りました。一人暮らしの方は「これ以上お世話にはなれない」「自分は社会から必要とされていない」と、孤独であることを我慢していることに気付かされました。

この出来事をきっかけに、社会的弱者の孤独死を防ぐ活動に力を入れるようになりました。地域の中には一人暮らしとなり、不安を抱えている方や、悩みを相談できる場所を探している方がいます。そこで私たちはアパート入居者への訪問や病院同行のほか、生活相談、仕事づくりなどが行える交流会を開始しました。「なんでんかんでん、だれでんかんでん、いつでんどこでん、互いに話をしたい」という思いを込めて「でんでん虫の会」と名付けました。人は一人では生きられません。自分の居場所や役割を探している方々と、元気・時間・仕事を分かち合いながら支え合い、家族のような関係をつくりたいと思っています。(つづく)

## YMCA祭り・バザー

下記の日程で地域YMCAの祭りが開催されます。ぜひお近くのYMCAまでお越しください。益金は国際協力青少年育成年末募金や地域活動のために役立てられます。詳しくは、各YMCAまでお問合せください。

むさしYMCAチャリティバザー	10月6日(日) 10:00~15:00
上通YMCA祭	10月13日(日) 10:30~15:00
水前寺幼稚園バザー	11月9日(土) 9:30~12:00
中央YMCA前進祭	11月10日(日) 10:30~15:00
東部YMCA祭	11月17日(日) 11:00~15:00

## YMCAフィランソロピー協会 第18回チャリティブチ駅伝大会

病気や家庭の事情などにより困難な状況にある子どもたちにクリスマスプレゼントを贈るため、チャリティブチ駅伝大会が開催されます。事前申告したタイムと実際のタイムの差を競います。男女や年齢に関係なく、マイペースで走りたい人も楽しく参加できます。また、チームならではのユニークなタスキや趣向を凝らしたコスチュームも見物です。

日時:11月23日(祝・土)9:30~12:00 9:00受付開始

会場:菊陽杉並木公園“さんさん”ふれあい広場  
(菊池郡菊陽町大字原水5326)

参加費:1チーム(5人)10,000円(おたのしみ抽選券付)

お問合せ/熊本YMCA ICR TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877  
E-mail icr@kumamoto-ymca.org

## TOPICS 地域YMCAにまつわる人・モノ・場所などを順番にご紹介します。

### 子育て中でも英会話

上通



若いお母さんが、生後4ヶ月の赤ちゃんを連れてレッスンに参加されています。日々の家事や育児で忙しく過ごしながらも、自分の時間を大切に、英会話レッスンに一生懸命励まれる素敵なお母さんをこれからも応援していきたいと思えます。

自分や家族のために学ぶことは、社会を支えることにもつながります。満面の笑みで私たちを楽しませてくれるこの赤ちゃんも、将来は世界を支える立派な『地球市民』になってくれることでしょう。

上通YMCA 岩田宝子

### 建築科学生が活躍

東部



東部YMCA第2回浴衣祭りを実施した8月30日(金)は、朝から大雨の中で準備を行いました。悪天候の中、YMCA学院建築科の学生の皆さんは、ずぶ濡れになりながら、テント張りや会場設営の準備をしてくれました。

夕方、建築科2年生の岩下さんの開会宣言で始まった浴衣祭りの間は雨も降らず、浴衣コンテスト、食バザー、そうめん流し、ミニ歌声広場を無事に行うことができました。運営委員の皆さん、建築科の学生、日本語科留学生、地域の人たちが集い、楽しく交流しました。

東部YMCA 本田節子

### 美味しいブルーベリー

阿蘇



阿蘇は、すっかり涼しくなり秋を感じる日が多くなってきました。

今年も阿蘇YMCAではおいしいブルーベリーが見事な実を結びました。そこで、料理長がブルーベリージャムを作り、お客さんにこの期限定のサービスとして提供しています。また、今年もYMCA的の石キャンプ場にも、3月に10本、4月に20本のブルーベリーの植樹を行いました。今後の収穫の時期が楽しみです。毎年の豊かな自然の恵みに感謝します。

阿蘇YMCA 大久保和生

## Kumamoto YMCA Network

中央YMCA	☎096-353-6391	水前寺幼稚園	☎096-362-4141
YMCA学院	☎096-353-6393	阿蘇YMCA	☎0967-35-0124
YMCA学院高等学校	☎096-353-6391	赤水保育園	☎0967-35-0024
本部事務局・ICR	☎096-353-6397	尾ヶ石保育園	☎0967-32-0213
みなみYMCA	☎096-378-9370	永草保育園	☎0967-32-0810
上通YMCA	☎096-352-2344	黒川保育園	☎0967-34-0402
東部YMCA	☎096-382-6661	リフレスおおむた	☎0944-58-7777
ながみねファミリーYMCA	☎096-385-0676	就労継続支援	☎096-312-1333
むさしYMCA	☎096-248-6334	A型事業所WELL-B	



## キャラクター・ディベロップメント推進中

ある日のこどもえいごスクールのレッスンで英語のクイズを出しました。クイズのルールは、時間制限があることと一生懸命に取り組むこと。時間内にできた褒美はシールです。クイズの途中、活発でちょっぴりわんぱくな男の子が椅子から落ちてしまいました。面白くてじっとしてられなかったのです。私が彼をおこしてあげようとした時、クラスメートたちがさっと彼のところへ行き、みんなで手を差し伸べ「大丈夫？」と尋ねました。そしてクイズの制限時間が迫っても彼が椅子に座るまで見守っていました。私は子どもたちのこの行動に感動しました。もちろん、シールは全員にあげました。(上通 加瀬マリア)

【基本聖句】喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマの信徒への手紙12章15節)

熊本YMCAの使命

共に生きる社会  
ウェルネス活動

地球環境の保全  
ボランティア活動

生涯学習の推進  
平和な世界

■ホームページ [www.kumamoto-ymca.or.jp](http://www.kumamoto-ymca.or.jp)

■メールマガジン登録

[www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi](http://www.kumamoto-ymca.or.jp/cgi-bin/mail/mail.cgi)

